

日本環境感染学会教育ツール Ver. 3 の公開にあたり

(2013 年 3 月 1 日公開)
(2015 年 6 月 15 日一部修正)
(2016 年 8 月 1 日一部修正・追加)
(2017 年 9 月 15 日追加)
(2019 年 5 月 16 日一部修正)
(2022 年 1 月 26 日追加)
(2023 年 8 月 2 日追加)

一般社団法人日本環境感染学会 教育委員会 委員長 森兼 啓太
教育ツール担当 副委員長 佐和 章弘

この度、日本環境感染学会教育委員会では、感染制御に関連する変化に対応すべく従来のスライド教材である「教育ツール Ver. 1」の改定を行い、日本環境感染学会教育ツール Ver. 3 として公開致しました。

(2016 年 8 月、内容を一部修正および追加して、Ver. 3.2 としました)

(2017 年 9 月、Ver. 3.2 に「27. 口腔内細菌コントロールによる感染予防」を追加しました)

(2019 年 5 月、Ver. 3.2 を一部修正しました)

(2022 年 1 月、Ver. 3.2 にツールを追加しました)

(2023 年 8 月、Ver. 3.2 にツールを追加しました)

今回、追加したツールは以下の 6 ツールです。

33. 血液培養 ー基礎編ー、34. 口腔カンジダ症の診かた、治療、予防
35. 抗菌薬使用に関するサーベイランス ー基本編ー、36. 带状疱疹
37. 保育所での感染対策、38. 疥癬

- PDF 版と PowerPoint 版の内容は同一です。
- PDF 版のファイルは内容を変更することはできませんが、日本環境感染学会会員でなくともダウンロード可能になっています。
- PowerPoint 版のファイルは変更することが可能ですが、日本環境感染学会会員のみダウンロード可能です。ダウンロードには ID (学会の会員番号 10 桁、ハイフン無し) と生年月日 (西暦年 4 桁・月 2 桁・日 2 桁、ハイフン無し) の入力が必要です。

【目次】

- 1 総論
- 2 標準予防策
- 3 感染経路別予防策
- 4 手指衛生
- 5 手術部位感染予防
- 6 尿道カテーテル関連尿路感染予防
- 7 人工呼吸器関連肺炎予防
- 8 血管内留置カテーテル関連血流感染予防
- 9 抗菌薬の適正使用

- 10 薬剤耐性菌対策
- 11 医療関連感染サーベイランス
- 11-1 サーベイランスの演習 SSI データの集計・解析
- 12 アウトブレイク調査
- 13 針刺しおよび血液・体液曝露防止
- 14 水痘・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎
- 15 結核の感染予防
- 16 インフルエンザ
- 17 洗浄・消毒・滅菌
- 18 医療廃棄物
- 19 リネンの管理
- 20 環境整備
- 21 消化器感染症
- 22 ノロウイルス感染症
- 23 臨床微生物学基礎編
- 24 微生物検査に適した検体採取と感染対策
- 25 高齢者介護施設における感染対策
- 26 内視鏡の感染対策
- 27 口腔内細菌コントロールによる感染予防
- 28 CRE の感染対策
- 29 医薬品添付文書の利活用の基本ー抗菌薬を中心に
- 30 在宅における感染対策（消毒編）
- 31 歯科診療における感染対策
- 32 正しい結果を得るための微生物検査の基本的なポイント・結果の見方
- 33 血液培養ー基礎編ー
- 34 口腔カンジダ症の診かた、治療、予防
- 35 抗菌薬使用に関するサーベイランスー基本編ー
- 36 带状疱疹
- 37 保育所での感染対策
- 38 疥癬

【注意事項・免責事項】

- 本ツールの著作権は、日本環境感染学会に帰属します。
- ユーザーは、医療従事者や職員の教育や指導を目的とする場合、自由に使用可能です。
- 日本環境感染学会会員向けには自施設内にカスタマイズ可能な PowerPoint 素材が用意されています。
- 商用のための複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳、転載、再利用を禁じます。ただし、商用出版物において本ツールの内容を引用する場合、「日本環境感染学会教育ツール Ver. 3.2 より引用」と明記することにより、利用可能です。

【製作・編集者】

[日本環境感染学会教育委員会教育ツール部会委員]

太田 耕司、佐藤 智明、佐和 章弘、塚田 真弓、森 美菜子、森兼 啓太、山崎 博史（50 音順）